

# ロータリーへのお誘い

会員増強・  
新会員候補者様用



源流の会

# 1. ロータリーとは



ロータリーは人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した事業および専門職務に携わる人が世界的に結びあった団体です。

一言で言えば、ロータリーは利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です。

# 2. ロータリーの奉仕理念とは



ロータリーの奉仕理念とは他への思いやりの心、助け合いの心、他人のお役に立つ行いをしようとする心です。

**寛容・慈愛・忍耐**

(創始者 ポール・ハリスの信条)



ロータリーの創始者  
ポール・ハリス氏  
(1868~1947)

# 3. ロータリーに奉仕理念を提唱した人



アーサー・F・シェルドンはアメリカ・ミシガン州ヴァーノン生まれで、初期ロータリーの指導的人物でした。1908年にシカゴロータリークラブに入会し、ロータリーに奉仕の理念を提唱した人ということでもうにも有名な方です。ロータリーのモットーである He profits most who serves best. すなわち「最も奉仕するもの最も多く報いられる」という奉仕理念を提唱しました。



アーサー・F・シェルドン  
(1868~1935)

# 4. ロータリーの目的とは



ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI理事会の意見が一致した。

## 5. ロータリーの歴史



20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士“ポール・ハリス”はこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリー・クラブという会合を考えました。ロータリーとは、集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴ・ロータリー・クラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数は約34,000クラブ、会員総数は1,220,000人以上に達しています。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー（RI）と称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んじる事業および専門職務に携わる人の集まりなのです。その組織が地球の隅々まで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動が求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしています。

ロータリーを創設した  
ポール・ハリスと3人の仲間▶



## 6. 日本のロータリー



わが国最初のロータリー・クラブは1920年（大正9）10月20日に創立された東京ロータリー・クラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリー・クラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ、初代事務総長チェスリー・ペリーと、日本のロータリー創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。



日本のロータリーの  
創始者 米山梅吉氏



日本で3人目の国際  
ロータリー会長（2012-  
13）の田中作次氏  
（埼玉・八潮RC）

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しました。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。

国際ロータリーの会長においては、日本初の東ヶ崎潔氏（東京RC）に続き、向笠廣次氏（大分・中津RC）、そして田中作次氏（埼玉・八潮RC）が就任しました。

# 7. ロータリーの活動



## ●国際ロータリーの活動

### 米山奨学会



日本で学ぶ外国人留学生の支援

### ロータリー財団



財団奨学生と留學生活の支援

### ポリオ

**END  
POLIO  
NOW**



ポリオ撲滅に挑む

### 水問題



井戸を掘り、綺麗な飲み水を確保

### 識字率向上



子どもたちに明るい未来を贈る

### 青少年交換



青少年のためのさまざまな支援

## ●クラブの活動

### 友好クラブ



友好クラブ締結 (タイ・チェンマイRC)

### 職業奉仕



出前教室

### 社会奉仕



不法投棄物撤去作業など、環境を守る

### 国際奉仕



水資源確保の海外支援

### 新世代フォーラム



若者と思い切り話そう

### 環境保全



海外において、  
マングローブ  
植樹活動

## 8. 四つのテスト



事業および専門職務に携わるロータリアンの心構えとして、価値ある目標を追い求めるための指針です。さらに、広く一般に、多くの人の倫理的な羅針盤を提供することとして、簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。

### The Four-way test 四つのテスト

#### 1. Is it the truth? 真実かどうか

「嘘偽りがないかどうか」という意味です。商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは、非常に大切な基準です。

#### 2. Is it fair to all concerned? みんなに公平か

「すべての取引先に対して公正かどうか」ということを意味します。

#### 3. Will it build goodwill and better friendships? 好意と友情を深めるか

その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。

#### 4. Will it be beneficial to all concerned? みんなのためになるかどうか

商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して恥ずべきことではありません。ただし、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうかを問うものです。

(RI2680地区 田中 毅PDG ロータリアンの源流より抜粋)

## 人道的奉仕活動の紹介



東日本大震災復興への支援活動



地域の保健所に井戸水が出るように、ポンプや設備を寄贈。  
(フィリピン・レイテ島)



パプアニューギニアでの活動。  
毎年、WHOと協力しポリオワクチンの接種活動。

## 9. ロータリーの主な行事



### 例会



年度始めの計画を  
検討する協議会

地区・研修協議会

週1回、決められた会場で、  
会員が揃って奉仕活動や卓  
話、親睦を深めるための例  
会が開かれる。

### 地区大会



年1回、34地区あるブロッ  
クごとに、会員の交流を深  
めるための地区大会が開か  
れる。



### ガバナー公式訪問



ガバナーが担当地区のクラブを訪問して、活動内容な  
どについての指導をする。

### 国際大会



毎年1回、世界のロータリアンが集まって、国際大会  
が開催される。参加国代表の市民パレードで祝う。

## 10. 親睦活動



青少年交換（研修生の座禅体験）



会員による相互交流会と親睦会



海外クラブとの交流  
（ニューヨークロータリーでの例会参加）



家族をまじえて、家族例会



第30回 全国ロータリークラブ野球大会

平成25年7月5日 会場：阪神甲子園球場  
同好会などの親睦活動

# 11. ロータリークラブの奉仕部門とクラブ委員会



## 五大奉仕部門

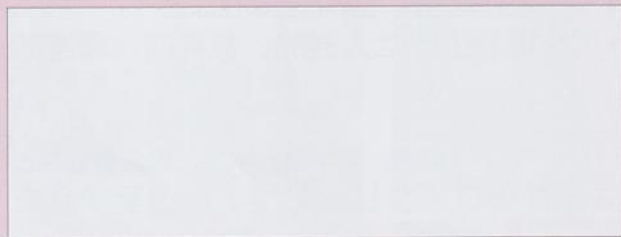
私たちは、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

- ・ **クラブ奉仕**は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。
- ・ **職業奉仕**は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることで。
- ・ **社会奉仕**は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。
- ・ **国際奉仕**は、国際的なプロジェクトでボランティア活動をしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。
- ・ **青少年奉仕**は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

## クラブ委員会

- ◆ **会員増強委員会** …… 会員増強、会員選考、職業分類、ロータリー情報など「増」は増員・「強」は強化で、ロータリアンの会員増強が大切。会員増強と退会防止の総合的計画を立案し、増強プラスを実施する。
- ◆ **公共イメージ（クラブ広報）委員会** …… 広報、IT、雑誌、クラブ広報などロータリーに関する情報を一般社会に提供し、クラブの奉仕プロジェクトの活動を推進するための計画を立案し、実施する。
- ◆ **クラブ管理運営委員会** …… プログラム、親睦活動、出席、規定審議、ニコニコ箱、友好クラブなどクラブの効果的な管理運営に関する活動を実施する。
- ◆ **奉仕プロジェクト委員会** …… 職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、環境保全、高齢者、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換、世界社会奉仕など地元地域社会、他国の地域社会のニーズを取り上げた人道的、教育的、職業的プロジェクトを開発し、実施する。
- ◆ **ロータリー財団・米山委員会** …… 財団、奨学金、学友、恒久基金など財政的寄付およびプログラム参加の両面からロータリー財団・米山奨学会を支援する計画を立案し、実施する。

（上記以外の委員会は、クラブの規模および目標に応じて任命することができます。）



---

## ロータリーへのお誘い

2014年（平成26年）1月  
第2版発行

編集／ロータリー情報研究会  
発行／源流の会

---